

[業 務 委 託 仕 様 書]

1. 委託発注名 米沢市立第一中学校増築等基本設計業務委託

2. 業務の目的

令和 11 年度に第一中学校と第七中学校を統合し、東成中学校を開校するにあたり、その校舎として使用する第一中学校について、内部改修及び増築による不足教室の増室及び LED 照明器具改修、空調改修、屋根・外壁の長寿命化改修の基本設計を実施するもの。

3. 委託業務内容

・教室の増室

現在、普通教室 15 室、特別支援教室 3 室、学習室（予備室）1 室の計 19 室あり、令和 11 年度開校には普通教室 19 室、特別支援教室 6 室の計 25 室必要となる。既存の教室を改修するなどの再編及び増築を行い、普通教室 4 室、特別支援教室 2 室、理科室 1 室、理科準備室 1 室の増室を計画する。増室する方法については別紙の配置計画案を参考に内部改修や 1F テラス増築、別棟増築等の案を計画し、概算工事費を含めた比較検討を行い決定する。また、統合中学校の開校が令和 14 年度に延期した場合の案も検討する。延期した場合、普通教室 17 室、特別支援教室 3 室、予備室 1 室必要となるため、普通教室 2 室、理科室 1 室、理科準備室 1 室の増室を計画する。増室する方法については増築を伴わない内部改修とし、概算工事を含めた比較検討を行い決定する。なお、図書室等、既存の諸室を内部改修し、別の教室の増室を行う場合、減少した当該諸室を他の場所に移設するものとする。ただし、旧コンピューター室等減少しても移設不要な諸室もあるため、調査職員と打合せの上、移設の可否を決定する。

・職員室の拡張

職員数（約 15 人）が増えることにより、職員室の拡張を検討し、必要な内部改修等を計画する。

・内部改修

不足する教室の増室に伴い、昇降口の下足箱を追加等、開校に必要な改修を計画する。

・LED 照明器具改修

校舎、屋内運動場の全ての照明の LED 照明器具更新を計画する。

・空調設備改修

屋内運動場や特別教室等に空調設備設置を計画する。

- ・長寿命化改修

校舎及び屋内運動場の屋根と外壁について、長寿命化を目的とした改修を計画する。

- ・その他

LED 照明器具改修、空調設備改修、長寿命化改修については現地調査を基に打合せを行い、改修内容を決定し、基本図作成、概算工事費算出を行う。

【基本設計】[建築、機械（空調・衛生）設備、電気設備]

- ・ 基本設計方針の策定(総合検討)
- ・ 内部改修による増室及び増築計画のプランニング及び仕様概略の決定
- ・ 上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況調査及び関係機関との打合せ
- ・ 概算工事費の検討
- ・ 全体事業の工程計画作成等

4. 履行期間 契約締結日から令和8年8月31日まで

5. 敷地・建物概要

位 置 : 米沢市駅前4丁目3番51号

敷地面積 : 35,703 m²

用途地域 : 第一種住居地域（建ぺい率 60% 容積率 200%）

近隣商業地域（建ぺい率 80% 容積率 300%）

構 造 : 既存部 鉄筋コンクリート造

増築部 木造とするが、工期、建設費等を検討して決定する。

規 模 : 既存部 3階建て

増築部 平屋建て

延床面積 : 既存部 8,100 m²

増築部 約 300 m²

排水処理 : 公共下水道（公共桝未設置）

耐震安全性の分類（構造体）：Ⅱ類 （建築設備）：甲類

5. 工事予算額

967,000,000 円（消費税額及び地方消費税額含む。）

※ 外構、屋外付帯施設の工事費は上記金額には含まれない。

※ 令和9年度発注予定。

6. 建物条件

要求室

室名	特記事項	床面積
普通教室	黒板、ロッカー、掃除用具入、教具棚を設ける。	約 80 m ²
特別支援教室	黒板、ロッカー、掃除用具入、教具棚を設ける。	約 50 m ²
予備室	黒板、ロッカー、掃除用具入、教具棚を設ける。	約 50 m ²
理科室	黒板、掃除用具入、観察台、収納棚(流し付)を設ける。	約 120 m ²
理科準備室	収納棚を設ける。	約 50 m ²

【設 備】

・ 機械設備工事

(空調) 冷暖房設備、給油設備、換気設備、自動制御設備

(衛生) 衛生器具設備、給水設備、排水設備、給湯設備、消火設備、ガス設備

・ 電気設備工事

電灯設備、動力設備、電熱設備、受変電設備、構内配電線路設備、構内通信線路設備、構内情報通信網設備、構内交換設備、情報表示設備、拡声設備、誘導支援設備、テレビ共同受信設備、防犯・入退室管理設備、自動火災報知設備

7. 提供できる資料

- ・ 既存設計図面 (PDF データ)
- ・ 構造計算書
- ・ 地質調査業務委託報告書 (平成 3 年度)

8. 提出図書 (成果品)

[基本設計]

1. 基本設計報告書

A 4 版製本 10 部

報告書には以下の内容を含むものとする。

仕様概要表、仕上表、面積表及び求積表、敷地案内図、配置図、平面図、断面図、立面図、計画説明書、全体事業の工程表、工事費概要書

2. 電子データ

CD-R 等メディア 1 部

* CAD データのファイル形式は、JWW 形式とする。

(必ず線種設定、レイヤ分けをし、JWW にて開いた際に、文字ずれ等の損傷がないことを条件とする。)

3. 打合せ記録簿

1 部

4. 透視図 (パース)

額縁付 (A2 版)、データ共 1 部 (アイレベル、鳥瞰図)

5. 設備設計計算書

2 部

注：基本設計報告書は、令和 8 年 8 月 31 日までに提出すること。

9. その他、注意事項

- (1) 業務は、発注者が指示した延床面積・工事費等を遵守し、設計条件に基づいて実施する。
- (2) 業務は、関係する法令及び条例等の規定、委託仕様書、適用基準を遵守し、調査職員の指示するところによって実施する。
- (3) 業務は、現地の交通状況等周辺状況を十分調査把握し、給水、排水、ガス、消防、電気設備等について関係機関と十分打合せを行い、調査職員と常に緊密に連絡協議のうえ実施する。なお、協議の過程は記録し、打合せ記録簿として提出する。
- (4) 設計者（建築、設備共）は必ず担当者が直接現地調査を行い、現地と設計内容に相違が無いことを確認する。特に天井裏等の隠蔽部においては点検口等からの調査を行い、機器・配管の収まり寸法などを確認するとともに、調査内容を写真で提出する。
- (5) 受注者は、調査職員の指示があった場合、必要な調査を行い、関係法令を所管する機関と打合せの上、記録簿等の資料を作成する。
- (6) 受注者は業務の詳細について調査職員に計画・報告を行い、その承諾を受けなければならない。なお、協議の経過は記録し、打合せ記録簿として提出する。
- (7) 受注者は業務の内容に疑義が生じたときは、速やかに調査職員の指示を受けなければならない。
- (8) 地元及び有識者への説明資料等の作成、説明会への参加を必要に応じて適宜行うこと。
- (9) 誰でも使いやすい施設となるように、ユニバーサルデザインを採用すること。
- (10) 自然光を積極的に取り入れ、明るい空間づくりに心がけること。
- (11) 冬期間の雪や風について十分配慮した配置計画、建物形状とすること。特に屋根の形状については注意すること。
- (12) 機器単体の LCC(インシャル・ランニングコスト)及び排出 LCC02 に関する計算書を作成し、費用・環境配慮の両面から導入設備に関する有効性を検討すること。
- (13) 設備設計計算書は、国交省営繕部監修・公共建築協会発行の「建築設備設計基準」に基づき行うこと。
- (14) 空調室外機についてショートサーキット等の防止のために排熱の解析を行い、配置について検討すること。
- (15) 施設全体の仕上げには市産木材を積極的に利用する。
- (16) 建築物計画範囲内の外構設計を行うこと。
- (17) 業者に見積を依頼する場合、見積の内容等を事前に調査職員と協議すること。
- (18) 原則としてすべての提出物は、紙及び電子データの両方で提出すること。電

子データ・ファイルの保存形式は、調査職員と打合せの上、決定する。

- (19) 成果品提出の際は必ず担当者以外の者からチェックを受け、計算間違いや記入漏れ等の無い物を提出すること。朱書きによるチェックを付け、チェックを受けたことがわかるようにすること。
- (20) 本改修工事事業については補助事業となるため、発注者の求めに応じ必要な書類を作成する。
- (21) 発注者が提示した工事費と受注者が立案した計画施設から算出した工事費との間に相違がある場合には、計画内容変更に伴う設計図書等の修正を行うものとする。
- (22) 本工事は、ウィークリースタンス推進業務(ワンデーレスポンス実施対象業務)とする。実施にあたっては、「米沢市が所管する建設工事等及び建設コンサルタント業務等におけるウィークリースタンスの推進に係る活動方針」及び「ウィークリースタンス推進(ワンデーレスポンス実施対象)業務実施要領」に基づき行う。